

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目的	二級自動車整備士より一層高度化した未来の自動車技術に対応できる、高度整備技術・高度情報技術(IT)・環境保全技術を習得した一級自動車整備士、将来の整備技術コンサルタントを育成することを目的とします。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工科技術専門課程		一級自動車整備科		-	平成21年文部科学大臣告示第25号	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3690	990	0	2700	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		107人		4人	3人	7人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月3日～9月4日 ■冬季:12月23日～1月6日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アウディジャパン販売株式会社 株式会社関東マツダ 東京トヨタ株式会社 ネットヨタ多摩株式会社 フォルクスワーゲンジャパン販売株式会社 株式会社村内外車センター ■就職率※1 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 100 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	一級小型自動車整備士、 二級ガソリン自動車整備士、 二級ジーゼル自動車整備士、 危険物取扱者、ガス溶接技能講習、 アーク溶接特別教育、職業訓練指導員 ほか		

中途退学 の現状	■中途退学者 3名		■中退率 2.6%	
	平成26年4月1日 在学者	115 名	(平成26年4月1日 入学者を含む)	
	平成27年3月31日 在学者	112 名	(平成27年3月31日 卒業者を含む)	
	■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療			
ホームページ	■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。			
	URL: http://www.neec.ac.jp/			

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省が定める自動車整備士養成施設の基準に則り、企業から求められる人材育成を目的として企業ヒアリングを行い、授業内容および改善を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
堀上 則夫	東京都自動車整備振興会 八王子支部支部長
高橋 孝司	株式会社立川ディーゼルオートサービス 代表取締役
坂本 康将	ポルシェセンター横浜 インプロブ株式会社 アフターセールス部マネー
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
高地 昭彦	日本工学院八王子専門学校 科長
清水 拓也	日本工学院八王子専門学校 係長
淵川 達也	日本工学院八王子専門学校 係長

(開催日時)

第1回 平成27年8月4日 15:00～17:00

第2回 平成28年3月 開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省が定める自動車整備士養成施設の基準に則り企業が求める人材として見につけるべき知識・技術・ビジネスマナーの課題のヒアリングを行い、実習内容の検討を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
シャシ整備実習基礎 2	実習車両や単体教材を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備基礎技術を学びます。	オートサービスクロスロード

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師(元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアデザイン	挨拶・手紙・作文・面接などの基本と一般常識を学び就職試験対策をします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	30	2	○			○		○		
○			自動車基礎	自動車の仕組み・構造・構成部品についての基礎を学びます。	1・前	120	8	○			○		○		
○			自動車整備機器	自動車整備に使用する機器工具及びその使用方法について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			自動車技術	自動車を構成しているエンジン・シャシ・電子電気装置の部品・構造・機構・動作原理について学びます。	1・後	90	6	○			○		○		
○			自動車整備基礎	自動車の仕組み・構造・構成部品についての基礎を学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			エンジン整備実習基礎 1	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの整備技術の基本を、作業を通して学びます。	1・前	70	2			○	○		○		
○			エンジン整備実習基礎 2	ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの整備技術を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○	○		○		
○			シャシ整備実習基礎 1	ブレーキやサスペンションなどのシャシ整備に関する基本技術を、作業を通して学びます。	1・前	70	2			○	○		○		
○			シャシ整備実習基礎 2	ブレーキやサスペンションなどのシャシ整備に関する技術を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○	○			○	○
○			電装整備実習基礎 1	自動車の電気装置に関する電子電気技術の基礎について実習を通して学びます。	1・前	70	2			○	○		○		

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			電装整備実習基礎2	自動車の電気装置に関する整備技術の基本を、作業を通して学びます。	1・後	70	2			○	○		○		
○			測定実習	自動車整備に必要な計測を、測定作業を通して学びます。	1・前	40	1			○	○		○		
○			工作実習	金属加工を通して、その性質や加工方法を学びます。	1・前	20	0			○	○		○		
○			自動車整備実習基礎	自動車のエンジン整備・シャシ整備・電装整備の基礎的な整備方法を作業を通して学びます。	1・通	80	2			○	○			○	
○			電子制御実習基礎	自動車の電子制御技術の基礎を実習を通して学びます。	1・通	52	1			○	○			○	
○			国家2級合格講座	二級自動車整備士国家試験合格へ向けた講座です。	2・後	15	1	○			○		○		
○			自動車工学	自動車のエンジン・シャシ・電子電気装置などの動作原理と部品について詳しく学びます。	2・前	90	6	○			○		○		
○			自動車整備技術	エンジン・シャシ・電子電気装置の整備方法を学びます。	2・前	60	4	○			○		○		
○			自動車総合技術	自動車の故障診断方法の基本など総合的な整備方法を学びます。	2・後	50	3	○			○		○		
○			自動車総合整備	自動車の故障診断方法の基本など総合的な整備方法を学びます。	2・後	60	4	○			○		○		
○			自動車検査基礎	自動車の検査方法の基礎を学びます。	2・後	20	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車整備法規基礎	自動車整備に関する法規の基礎を学びます。	2・後	20	1	○			○		○		
○			電子制御実習	自動車のエンジン・シャシを制御する電子制御の原理を具体的に学びます。	2・通	28	0			○	○			○	
○			エンジン整備実習1	可動エンジンを使用して、ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの整備技術を学びます。	2・前	70	2			○	○		○		
○			エンジン整備実習2	可動エンジンを使用して、ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○	○		○		
○			シャシ整備実習1	実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を学びます。	2・前	70	2			○	○		○		
○			シャシ整備実習2	実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○	○		○		
○			電装整備実習1	自動車の電気装置に関する部品の特性を理解することと、その電子制御装置の整備技術を実習を通して学びます。	2・前	70	2			○	○		○		
○			電装整備実習2	自動車の電気装置に関する整備技術を、より実践的に学びます。	2・後	70	2			○	○		○		
○			自動車総合整備実習	実習車両を使用して総合的な整備作業について学びます。	2・通	90	2			○	○		○		
○			自動車検査実習	実習車両を使用して自動車検査作業について学びます。	2・前	50	1			○	○		○		
○			ビジネスマナー	就職活動に備え、将来の社会人として必要な知識・マナーを身につけます。	3・後	15	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			安全管理	災害防止・防火・防災・救急処置について学びます。	3・後	30	2	○			○		○		
○			エンジン電子制御技術	ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの最新電子制御について学びます。	3・前	30	2	○			○		○		
○			環境保全	資源の有効利用・産業廃棄物処理・汚染物質・工場騒音・工場振動に関する環境保全方法について学びます。	3・後	30	2	○			○		○		
○			高度エンジン整備技術	ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの最新電子制御整備について学びます。	3・前	30	2	○			○		○		
○			高度シャシ整備技術	AT（オートマテイツクトランスミッション）・PS（パワーステアリング）等の最新の電子制御整備技術について学びます	3・前	30	2	○			○		○		
○			高度電装整備技術	高度なコンピュータ電子制御装置の整備について学びます。	3・後	30	2	○			○		○		
○			自動車検査技術	道路運送車両法の保安規準・自動車検査の詳細を学びます。	3・後	5	0	○			○		○		
○			自動車新技術	ハイブリッド車・CNG車・筒内噴射式エンジン・CVT・ブレーキ・スリップ・姿勢制御等の制御技術について学びます。	3・後	30	2	○			○		○		
○			自動車整備法規	自動車整備に関する法規及び通達の詳細について学びます。	3・後	10	0	○			○		○		
○			シャシ電子制御技術	AT（オートマテイツクトランスミッション）・PS（パワーステアリング）・ABS・オートAC（オート・エア・コンディショナ）等の電子制御について学びます。	3・前	30	2	○			○		○		
○			整備機器取扱技術	整備支援機器・高精度計測機器・自動車検査機器取り扱い方法を深く学びます。	3・前	15	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			総合故障診断技術	最新の故障診断器を使用した振動・騒音を含めた複雑な故障診断技術について学びます。	3・後	30	2	○			○		○		
○			応用エンジン整備実習	電子制御技術搭載の実車のエンジンの点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・前	140	4			○	○		○		
○			応用シャシ整備実習	電子制御技術搭載の実車のシャシの点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・前	140	4			○	○		○		
○			応用電装整備実習	実車の電子制御装置の点検・分解・組立・調整・検査を実習します。	3・後	140	4			○	○		○		
○			応用自動車検査実習	自動車検査員レベルの検査実習をします。	3・後	20	4			○	○		○		
○			応用総合整備実習	最新技術搭載の実車を総合故障診断して整備する実習を行ないます。	3・後	140	4			○	○		○		
○			応用工作実習	手作業・旋盤・フライス盤・溶接などによる金属加工作業を実習します。	3・前	10	0			○	○		○		
○			応用測定実習	エンジン出力・駆動力やセンサの特性等の測定方法を実習します。	3・前	10	0			○	○		○		
○			国家1級合格講座	一級自動車整備士国家試験合格へ向けた講座です	4・前	15	1	○			○		○		
○			インターン実習	自動車の点検、整備、故障原因探求、総合診断の整備作業と接客実務を企業で実体験します。	4・前	200	6			○		○	○		
○			サービス・マネジメント	販売士・顧客管理・顧客対応技術・整備見積書作成技術について実習します。	4・前	150	5			○	○		○		

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 一級自動車整備科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			総合実務実習1	顧客管理、顧客対応技術、整備見積書作成技術について実習します。	4・前	60	2			○	○		○		
○			総合実務実習2	高効率整備作業マニュアル作成、高難度故障原因探求作業、総合診断作業を実習します。	4・後	490	16			○	○		○		
合計			57 科目			3690 単位時間 (144 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目3675時間（138単位）取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。